

2017年10月5日

近鉄不動産株式会社

あべのハルカス美術館「太陽の塔」展 開催決定！

日本一高いビル「あべのハルカス」の16階に位置するあべのハルカス美術館では、2014年3月の開業以来、東大寺展を皮切りに全19本の展覧会を実施してまいりました。

2017年秋からは「大英博物館 国際共同プロジェクト 北斎 -富士を超えて-」、「ジブリの立体建造物展」、「生誕120年 東郷青児展 夢と現の女たち」、「ボストン美術館 浮世絵名品展 鈴木春信」、「チームラボアイランドー学ぶ！未来の遊園地ー」の5本の展覧会を予定しております。

さて、上記5本の展覧会に続く新たな展覧会を企画しましたのでお知らせします。展覧会の詳細は下記のとおりです。また別紙では2018年秋までに開催予定の展覧会を紹介しております。

今後も多種多様な展覧会を気軽に楽しめる、より魅力的な都市型美術館として多くのお客様にお越しいただけるよう運営してまいります。

「太陽の塔」展

会 期：2018年9月15日(土)～2018年11月4日(日)

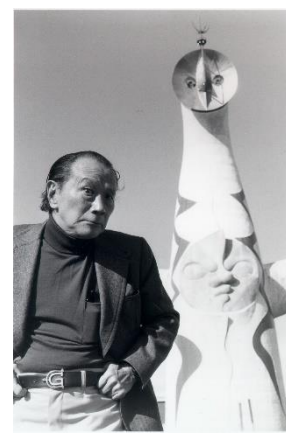
開催趣旨：大阪吹田の千里丘陵に独り立つ「太陽の塔」。1970(昭和45)年、日本万国博覧会のテーマ館の一部として岡本太郎(1911-1996)が作り上げた異形の塔が、2018年(平成30)3月、49年の時を経てついに息を吹き返します。本展では、失われた展示空間を初めて3次元で再現。太郎がテーマ館全体の根源を表現した地下展示を追体験します。万博という人類の「祭り」に太郎が問いかけたものの根源とは？「太陽の塔」が内包するものとは？その構想段階から完成まで、さらには再生事業までを網羅。1992(平成4)年の改修で塔から外された直径11メートルのオリジナルの「黄金の顔」を出品するほか、多彩な作品と精巧な模型に加え映像や音響など多彩なメディアを駆使し、岡本太郎の感性を大きなスケール体感する展覧会です。



万博会場に屹立する太陽の塔
1970年



吊り上げを待つ《黄金の顔》
1969年



太陽の塔を再訪した岡本太郎
1979年

～ あべのハルカス美術館・2017年秋～2018年秋 展覧会ラインアップ ～

	2017年			2018年									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
展覧会名	I. 大英博物館 国際共同プロジェクト 北斎 -富士を超えて-		II. ジブリの 立体建造物展		III. 生誕120年 東郷青児展 夢と現の女たち			IV. ホストン美術館 浮世絵名品展 鈴木春信		V. チームラボアイランド -学ぶ！未来の遊園地-		VI. 太陽の塔展	
会期	10月6日(金) ～ 11月19日(日)		12月2日(土) ～ 2018年2月5日(月)		2月16日(金) ～ 4月15日(日)			4月24日(火) ～ 6月24日(日)		7月13日(金) ～ 9月2日(日)		9月15日(土) ～ 11月4日(日)	
日数	40日		63日		55日			50日		52日		45日	

【詳細】

I. 大英博物館 国際共同プロジェクト 北斎 -富士を超えて-

会期：2017年10月6日(金)～2017年11月19日(日)

共催：NHK大阪放送局、NHKプラネット近畿、朝日新聞社

開催趣旨：稀代の浮世絵師、北斎。ゴッホやモネに影響を与え、「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」は「The Great Wave」として世界で最も知られる作品の一つです。新パスポートに「富嶽三十六景」が採用され、今、北斎は日本を象徴する存在になりつつあります。本展では、肉筆画を中心に還暦以降の30年に焦点を当て、90歳まで描き続けた北斎が追い求めた世界に迫ります。



《富嶽三十六景凱風快晴》天保元～4年(1830～33)頃
大英博物館 © The Trustees of the British Museum.



《富嶽三十六景神奈川沖浪裏》天保元～4年
(1830～33)頃 大英博物館 © The Trustees of the British
Museum. Acquired with the assistance of the Art Fund.



《雪中中国武人図》天保14年
(1843)頃 氏家浮世絵コレクション

II. ジブリの立体建造物展

会 期：2017年12月2日(土)～2018年2月5日(月)

共 催：読売テレビ放送、読売新聞社、キョードー関西

開催趣旨：ジブリ作品に登場する、どこかに存在していそうな架空の建造物。本展では、その印象的な建物に注目し、建築家 藤森照信氏の監修により紹介します。「風の谷のナウシカ」から「思い出のマーニー」まで、背景画や美術ボード、美術設定といった制作資料400点以上と、大小の立体模型を展示。物語の舞台である、空想的で現実的な空間へのこだわりを迫ります。



千と千尋の神隠し © 2001 Studio Ghibli・NDDTM



となりのトトロ © 1988 Studio Ghibli

III. 生誕120年 東郷青児展 夢と現の女たち

会 期：2018年2月16日(金)～2018年4月15日(日)

共 催：産経新聞社、関西テレビ放送

開催趣旨：東郷青児(1897-1978)は日本最初期の前衛絵画から昭和のモダン文化を彩るデザインの仕事、さらには美と抒情を統合した比類ない女性像まで、生涯にわたってさまざまな造形的挑戦を続けました。本展では、「東郷様式」と呼ばれた独特のスタイルが確立する1950年代末までを中心に、逸品と希少品を一堂に集め、その画風の形成をひもときます。



《バイオレット》東郷青児 1952年 損保ジャパン日本興亜



《超現実派の散歩》1929年 油彩・キャンヴァス
東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館

IV. ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信

会 期：2018年4月24日(火)～2018年6月24日(日)

共 催：日本経済新聞社

開催趣旨：希少な浮世絵を多数所蔵していることで名高いボストン美術館。中でも、錦絵創始期の第一人者として知られる春信のコレクションは世界最高と称されています。本展では、選りすぐりの作品により春信の神髄をご覧いただきます。また、周辺の浮世絵師たちのコーナーを設け、春信を生み出した時代の気風を浮かび上がらせます。



《見立玉虫 屋島の合戦》鈴木春信 中判錦絵2枚続のうち
左 明和3-4年(1766-67)頃 ポストン美術館蔵

V. チームラボアイランド -学ぶ！未来の遊園地-

会 期：2018年7月13日(金)～2018年9月2日(日)

共 催：毎日放送、チームラボ、読売新聞社

開催趣旨：デジタル領域のさまざまな分野のスペシャリストから構成されるウルトラテクノロジスト集団、チームラボ。国内・海外累計来場者数500万人を達成した最先端のデジタルアート展は、世界中で注目を集めています。共同的で創造的な人間になることをテーマにした教育的なプロジェクト「学ぶ！未来の 遊園地」。創造性を培う新感覚の体験アートイベント。



Teamlab,2016-,Interactive Digital Installation

【アクセス】

【開館時間】

火～金：10:00 - 20:00
月土日祝：10:00 - 18:00
*入館は閉館30分前まで
*ジブリの立体建造物展のみ、全日10:00 - 20:00

【休館日】

一部の月曜日
年始、展示替え期間(不定期)
*展覧会により休館日は異なります。

【所在地】

〒545-6016
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス16階

【最寄駅】

近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」駅 直上
JR各線「天王寺」駅
地下鉄御堂筋線「天王寺」駅
地下鉄谷町線「天王寺」駅
阪堺上町線「天王寺駅前」駅 よりすぐ



※プレスリリースに添付している画像データは貸出可能ですのでご希望の方はお問合せください。
また、各展ともに開催2～1ヶ月前を目処に詳細なプレスリリースを皆様のもとへお送りします。